

# 平成 26 年度事業報告

平成 26 年 4 月 1 日から  
平成 27 年 3 月 31 日まで

## 事業の概要

当社は、住民の福祉の増進に寄与することを目的に「地域社会の振興に関する事業」「地域文化の振興に関する事業」「松崎町から受託する公の施設等の管理運営に関する事業」を実施した。

本年度は、指定管理者制度に基づき指定された農村環境改善センター、伊豆の長八美術館、重要文化財岩科学校、明治商家中瀬邸、民芸館、道の駅花の三聖苑伊豆松崎、公共の宿伊豆まつざき荘の管理運営に努めるとともに、町が提唱するグリーンツーリズム推進事業を受託し、都市と地方の共生、地域の活性化が図れるよう事業展開した。

### 定款第 4 条第 1 項事業

地域社会の振興に関する事業

#### ① 料理教室

本年度の第 28 期の料理教室では、4 人の講師を招きホテルの本格的な洋食メニューや健康、栄養に気を配った和食など年間 7 回の教室を開いた。和食では、初めての試みとして講師（管理栄養士）による大豆をテーマにした勉強会を開催し、食の大切さについて学んだ。また、賀茂地域で官民あげて取り組んでいる賀茂十一野菜を使った洋食メニューにもチャレンジした。

■ 料理教室開催回数 洋食 4 回・和食 2 回・菓子 1 回 合計 7 回

■ 受講者 各回 20 人募集（延べ 110 人）

実施日	内 容	参加人数	会 場
7 月 11 日	洋 食	17 人	環境改善センター
9 月 29 日	和 食	15 人	環境改善センター
10 月 29 日	洋 食	17 人	環境改善センター
11 月 19 日	菓 子	13 人	環境改善センター
1 月 15 日	洋 食	15 人	環境改善センター
2 月 18 日	和 食	17 人	環境改善センター
3 月 18 日	洋 食	16 人	環境改善センター

## ② 地域活動情報の収集、提供

観光施設や宿泊、交通機関等の入込状況を調査し、関係機関に情報提供した。また、町内の観光情報等は温泉郷だよりとしてマスコミ関係者に発送した。振興公社のホームページでは施設情報、イベント等タイムリーな話題提供を行った。

## ③ グリーンツーリズム事業

松崎町からグリーンツーリズム推進事業を受託し、町の自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動を推進する為、現在行われているプログラムや他の市町の協議会での事例を参考に、新たなプログラムの開発や、観光資源の発掘、地域の情報の収集及び提供に努め、各機関との連携を図りながら事業を進めた。

教育旅行の誘致に関しては、松崎町グリーンツーリズム推進協議会を事務局として小中学校の受入を推進するため、地域経済の振興と基盤の整備など、個性ある地域の発展に寄与することを目的として活動した。実績としては名古屋市立猪子石中学校をはじめ中京方面4校、県内3校の計7校（延べ1,173人）の生徒が岩地各民宿に宿泊し、松崎町での海に関する自然体験を行った。

誘致活動では、東京及び横浜、名古屋でエージェント、学校関係者を対象にした商談会に参加するとともに、松崎町のピーアール及びプレゼンテーションを行った。また、学校訪問での誘致活動を進める中、平成27年度の誘致に関しては三島市立北中学校を含む4校（延べ450名程）の仮予約が入った。

ジオパーク推進としては、これまで松崎町内で行ってきたジオサイト見学会を西海岸エリアに広げ、多くの町民がジオサイトに接することで伊豆半島ジオパーク世界認定への気運を高めた。

新たな取り組みとしては、町民を対象とした松崎町ノルディックウォーク体験（モニターツアー）を開催した。

体制整備としては、誘致活動に対し、安全管理を徹底するため講習会の開催及び、リスクマネジメント研修会を受講しソフト面からの意識向上に努めた。

静岡県グリーンツーリズム協会伊豆支部としては、ワークショップ及びモニターツアーを開催し、県内の支部として活動範囲を広げていくこととした。

## 定款第4条第2項事業

地域文化の振興に関する事業

### ① 漆喰鏝絵体験教室・栄光球体験教室の開催

伊豆の長八美術館では、本年度も漆喰鏝絵、栄光球教室を開催した。当美術

館ならではの教室であり、地域のイベントや学校教育とも連携を図りながら事業展開した。

実施日	内 容	参加人数	会 場
通年	漆喰鏝絵教室	109 人	伊豆の長八美術館他
通年	栄光球教室	372 人	伊豆の長八美術館他

## ② 鏝絵関連事業

全国漆喰鏝絵コンクール作品展の開催

期間 平成 26 年 9 月 28 日から 10 月 31 日まで

場所 伊豆の長八美術館特別展示室

第 15 回全国漆喰鏝絵コンクール作品展では、応募作品の中から入賞作品 15 点を伊豆の長八美術館へ展示した。

■ 期間入館者数 4,392 人（常設展を含む）前年度 139 人増

## 定款第 4 条第 3 項事業

松崎町から受託する公の施設の管理運営に関する事業

### ① 美術館管理事業

区 分	入館者数
一般大人	29,248 人
一般小人	855 人
団体大人	3,544 人
団体小人	246 人
無 料	1,321 人
合 計	35,214 人

伊豆の長八美術館の管理に関する基本協定書第 6 条別紙 2「伊豆の長八美術館管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

平成 26 年 2 月に東駿河湾道路が函南塚本 IC まで延伸し、更に 6 月には圏央道が東名高速道路と接続したことにより関東近郊から伊豆への所要時間が大幅に短縮された。この効果により、埼玉や栃木、群馬からのエージェントによる送客が大幅にアップし年間の入館者数を押し上げた。

本年度はテレビや雑誌の取材が多く、NHK “ひるブラ” BS ジャパン “日経おとなの OFF” でなまこ壁の街並みや鏝絵が全国に放映された。

自主事業の漆喰鏝絵教室は、夏休み(44 人)をはじめ年間 109 人の参加があり、栄光球教室は、夏休み(100 人)など年間 372 人であった。

学校関係では、松崎小学校 3 年生が郷土を知る授業として鏝絵を体験し、賀茂小学校 4・5・6 年生、稲梓小学校 6 年生が栄光球を体験した。

ミュージアムグッズとしては長八作品のクリアファイル 3 種類を制作し販売

を始めた。

## ② 重文岩科学校管理事業

区 分	入館者数
一般大人	17,515人
一般小人	895人
団体大人	2,513人
団体小人	331人
無 料	818人
合 計	22,072人

重要文化財岩科学校の管理に関する基本協定書第6条別紙2「重要文化財岩科学校管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

本年度の入館者数は、22,072人、前年度比2,005人増となり、美術館同様エージェンツ扱いが大きく伸びた。静岡県内や首都圏をはじめ、北関東が増加した。特に、年度当初の遠州鉄道バンビツアーで延べ793人の入館者があったことが大きい。

お休み処の開化亭では、季節限定の喫茶メニューとして“さくらしるこ”“冷やしぜんざい”を提供し利用者を伸ばしたが、売店では下半期に売れ筋商品の川のりの入荷がなかったことが響き、若干前年の実績を下回った。

松崎の繭の歴史に因んだ体験メニューとしてまゆ玉人形教室を開催しているが、夏休みや冬休みを中心に年間で58人の実績となった。

庭園管理・松の管理は、町内の園芸店や専門の樹木医に剪定や消毒、定期点検を委託した。防災面では、消防設備や放水銃の点検を専門業者に依頼するとともに、文化財防火デーをはじめ年2回の職員による避難誘導、放水訓練を実施した。

## ③ 明治商家中瀬邸管理事業

区 分	入館者数
一般大人	17,909人
一般小人	807人
無 料	242人
合 計	18,958人

松崎町営明治商家中瀬邸の管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町営明治商家中瀬邸管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

本年度は、クラブツーリズムの入館者数が前年度比1,059人減となったが、JTBの年金友の会や小団体が多かったため、全体としては18,958人とほぼ前年度並みの入館者数となった。

中瀬邸は施設の一部をジオパークビジターセンターとして開放しているが、来年度目指している世界ジオパーク認定に向け国内審査員の現地視察があった。10月には台風が2週にわたり接近し、強風により瓦が浮き上がる被害があった。

離れギャラリーでは、常設展として「世界の中心で愛をさけぶ展」「とんび展」を開催した。

#### ④ 環境センター管理事業

区 分	利用件数	利用者数
文化ホール	176件	12,231人
研 修 室	242件	6,180人
大会議室	281件	5,954人
和 室	234件	2,308人
調理実習室	99件	1,296人
ロ ビ ー	241件	3,017人
合 計	1,273件	30,986人

松崎町農村環境改善センターの管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町農村環境改善センター管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

各会場の利用状況は、区長会や各種委員会といった行政関係の利用のほか、英会話教室、町民グループによるフラダンス教室等活発に利用された。研修室や和室では、体操サークルや補聴器相談会、日本舞踊の練習などの例年通りの利用があった。3月には、文化ホールをはじめ各部屋ではトレイルジャーニーの利用があったため大きく利用者数を伸ばした。

ロビーには、大型モニターが設置され、町議会の本会議中継が開始された。会期中は成り行きを見守る多くの町民の姿が見られた。

#### ⑤ 民芸館管理事業

区 分	利用者数
合 計	10,667人

松崎町営民芸館の管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町営民芸館管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

本年度から、区分については売店利用者数を計上することとする。

年間の推移をみると、年度当初の利用者数減が最後まで挽回できず前年度比96.5%の売上実績となった。

施設内の営業に止まらず、地域のイベントへの出店や県内の観光誘客推進事業に積極的に参加した。初めての試みである新宿での松崎町・西伊豆マルシェ企画では、松崎町のPRに努めるとともに特産品販売を行った。2日間にわたり大変盛況であった。

⑥ 道の駅花の三聖苑管理事業

	区 分	利用・入浴者数
天城山房	食事喫茶	21,096人
かじかの湯	町外大人	12,738人
	町外小人	1,121人
	町内大人	15,922人
	町内小人	480人
	ボランティア	69人
	小 計	30,330人
	合 計	51,426人

松崎町営道の駅花の三聖苑伊豆松崎の管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町営道の駅花の三聖苑伊豆松崎管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

本年度の天城山房の利用者数は21,096人、前年度比523人減となったが、かじかの湯は前年度比205人増の30,330人となった。

内訳を見ると、食事の利用が伸びた半面、売店は地場製品の出品が少なかったこともあり前年度比86.7%と大きく減少した。

他施設同様にテレビ撮影や雑誌取材が多く、NHK静岡放送やテレビ東京ではかじかの湯やさくら葉関連商品が放映された。

年明け1月には、国土交通省から重点「道の駅」に選定された。今後、支援をいただきながら伊豆半島内8駅をネットワーク化し、地域の多様な観光情報を発信しながらインバウンドなどの競争力を高めていくこととなった。

夏休みのイベントとして恒例の「鮎のつかみどり」を開催し、昨年を上回る延べ1,510人の参加があった。

その他、中川三聖塾や福島県民子ども未来プロジェクトへ協力した。

⑦ 伊豆まつざき荘管理事業

区分	利用者数	付記
宿泊者	19,777人	部屋稼働率 59.1%
休憩者	7,085人	
入浴者	3,495人	人員稼働率
計	30,357人	39.7%

伊豆まつざき荘の管理に関する基本協定書第6条別紙2「伊豆まつざき荘管理業務仕様書」の施設管理業務を行った。

宿泊利用者は、4月、7月、8月は前年度を下回ったが、下半期は順調に推移し、合計19,777人となり前年度比1,117人増、106.0%と前年度を上回る結果

となった。人員稼働率は39.7%、部屋稼働率は59.1%となった。

また、休憩利用は、法事会食、忘新年会プラン、同窓会プラン等の利用で、合計7,085人となり前年度比862人増、113.9%となった。

営業面においては、アドバイザーの配置により、既存のプランに新しいプランを加えることで強化を行った。また、接客サービスの向上を図り、利用者の満足度を高めることにより、リピーター、口コミ効果を高めることに努めた。

営業活動は以下のとおりとなる。

#### 1) 既存プランに新しいプランの設定

本年度は、静岡県自動車学校693人(231人増、150%)、ビジネスプラン1,053人(404人増、162.2%)、一人旅プラン674人(453人増、305.0%)、ゆっくり寿プラン153人(134人増、805.3%)等、既存のプランの利用者の増加に加え、車椅子支援プラン37人、平日謝恩プラン109人、町民割引プラン1,414人等の新しいプランを投入した。

#### 2) 営業活動の実績

営業活動では、圏央道開通により群馬県、栃木県、埼玉県などの旅行会社のセールス、県内では、静岡県警察本部、市町村共済組合、教職員互助会、社会福祉協議会など、公共の施設、バリアフリーの宿としての営業活動を行った。静岡県警察本部は、平成26年度に契約が整い6人の利用があり、市町村共済組合は191人(22人増、113.0%)、ベネフィット利用は、296人(128人増、181.6%)となった。

山梨県昭和町と松崎町観光協会の保養施設制度の契約が締結され、平成27年度より利用が可能となり増加が見込まれている。

他に、静岡県大型観光キャンペーン「ふじのくにしずおか観光大商談会」などにも参加し、営業先は、延べ241件となった。

また、運転免許返納者に入浴招待券プレゼント、カルチャセンターへのダイレクトメール、町民向けに手作りチラシの新聞折込等を行った。

#### 3) 利用者の満足度の向上

宿泊者、利用者には、誕生日、結婚記念日などの記念日サービス、伊豆まつぎ荘の宿泊記念に名刺作成サービス、松崎をもっと知っていただくため、ふるさとガイドの協力を得て「ふるさとガイド紹介コーナー」を開催した。

また、会食者には入浴招待券サービス等、伊豆まつぎ荘の利用者の満足度を高める企画を実施した。

### 定款第4条第4項事業

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ① グリーンツーリズム推進に協力

グリーンツーリズムの一環として、各施設においても下記事業を展開し推進に協力した。

- 公共の宿伊豆まつぎ荘      ほたる鑑賞会、ぶどう狩り体験  
    わさび漬けづくり教室、棚田農作業体験  
    お祭りひろば、餅つき・餅まき大会
- 民芸館                              棚田田植祭・収穫祭へ出店、観光案内  
    イベント出店、観光案内（函南、沼津等）

### ② 緑化事業の推進

環境改善センターをはじめとする各施設の館内や花壇、フラワーポット等へ草花を植え、利用者の心を和ませるとともに心身のリフレッシュに役立てた。

- 春植え    ベゴニア・サルビア・マリーゴールド
- 秋植え    ビオラ・ノースポール

### ③ 松崎町イベントへの協力

事業名	実施状況・内容		
	実施日	場 所	備考
中川三聖まつり	4月6日	道の駅花の三聖苑	
伊豆松崎なまこ壁と桜のツーデーマーチ	4月5日・6日	町 内	
岩科重文まつり	4月27日	重文岩科学学校及び旧岩科小学校	
夏まつり	8月16日	松崎海岸周辺	
長八まつり	9月28日	伊豆の長八美術館周辺	



## 会議等の開催状況

### 1. 第1回理事会開催

① 日 時 平成26年4月1日（火）

② 方 法 決議の省略による

③ 議 事

佐藤光氏を代表理事に選定し、副理事長とする。

以上の議案について可決する決議があったものとみなされた。

### 2. 第2回理事会開催

① 日 時 平成26年5月15日（木）午前8時55分から

② 場 所 松崎町環境改善センター 研修室

③ 議 事

承認第1号 平成25年度一般財団法人松崎町振興公社事業報告の承認について

承認第2号 平成25年度一般財団法人松崎町振興公社財務諸表の承認について

承認第3号 平成25年度一般財団法人松崎町振興公社公益目的支出計画実施報告書の承認について

議案第9号 一般財団法人松崎町振興公社定時評議員会の招集について

議案第10号 一般財団法人松崎町振興公社基本財産の指定について

以上の議案について審議し承認、可決された。

### 3. 第3回理事会開催

① 日 時 平成27年2月26日（木）午前8時57分から

② 場 所 松崎町環境改善センター 研修室

③ 議 事

- 議案第 1 号 平成 26 年度一般財団法人松崎町振興公社会計  
補正予算（第 1 号）について
- 議案第 2 号 平成 27 年度一般財団法人松崎町振興公社事業計画  
について
- 議案第 3 号 平成 27 年度一般財団法人松崎町振興公社会計収支  
予算について
- 議案第 4 号 一般財団法人松崎町振興公社給与規程の一部を改  
正する規程について

以上の議案について審議し可決された。

4. 第 1 回評議員会開催

① 日 時 平成 26 年 6 月 2 日（月）午前 9 時 30 分から

② 場 所 松崎町環境改善センター 研修室

③ 審議事項

- 承認第 1 号 平成 25 年度一般財団法人松崎町振興公社財務諸表  
の承認について
- 承認第 2 号 平成 25 年度一般財団法人松崎町振興公社公益目的  
支出計画実施報告書の承認について
- 議案第 2 号 一般財団法人松崎町振興公社基本財産の指定につい  
て

以上の議案について審議し承認、可決された。